

経営比較分析表（令和5年度決算）

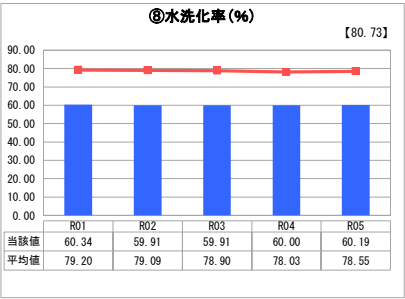
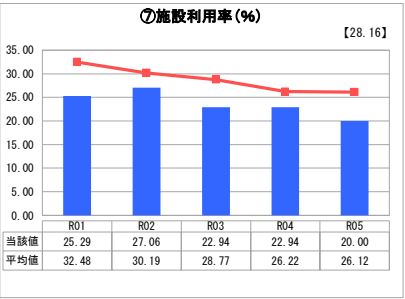
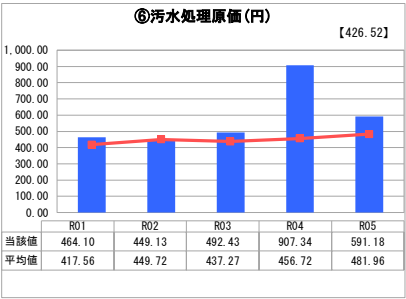
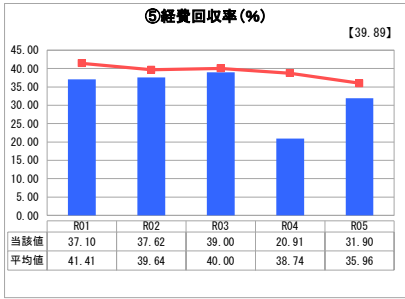
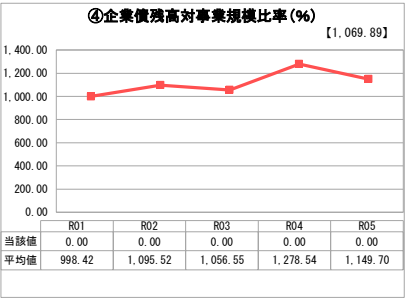
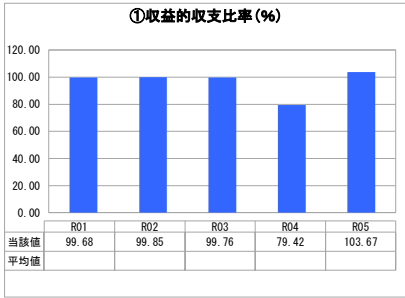
長崎県 対馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.77	100.00	3,960

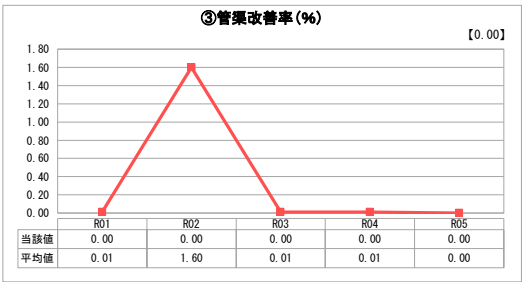
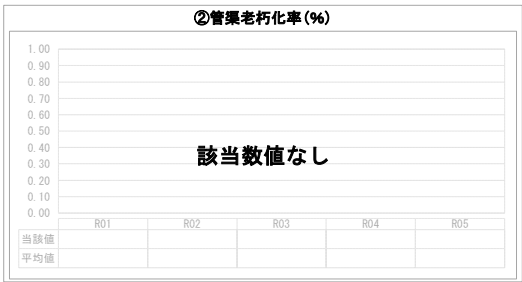
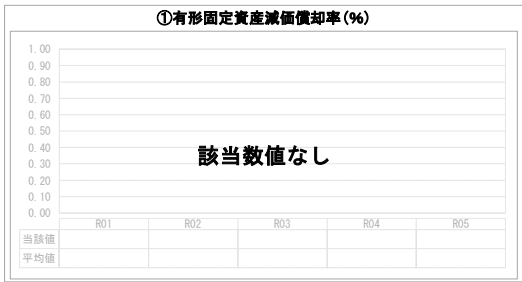
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,821	707.42	39.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
211	0.11	1,918.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を上回っているが、料金収入と経常支出の差額については、一般会計からの負担金で賄っている状況である。
⑤経費回収率は、31.90%と類似団体を下回っており、使用料収入では経費を賄えていない状態である。
⑥汚水処理原価は、591.18円と類似団体を上回っている。設備投資に対して接続率を上げていく必要がある。
⑦施設利用率は、20.00%、⑧水洗化率は60.19%といずれも類似団体下回る状況であり、供用区域内の人口が減少傾向にあることから、今後も普及活動を促進する必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成15年10月に供用を開始し20年が経過しているが、老朽化の状況について、現状では大きな問題はなく、今後も長期的な財政計画の基経費の節減に努めながら適切に施設を管理していく必要がある。

全体総括

本市漁業集落排水処理施設事業は、1地区のみの事業であり、人口減少や節水意識の向上に伴い有収水量が減少している。新たな加入者は本年度1件のみであり、今後の普及率向上は厳しいものと考えられる。
そのため、現行の経営戦略の改定を実施したうえで、経費削減、事務簡素化を一層進め、経営状況の改善に努めなければならない。
施設の維持管理に関して、適切な修繕、改修を進め、使用年数を延伸し、「施設の長寿命化」に努め、公共用水域の水質保全、快適で文化的な生活環境を確保する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。